

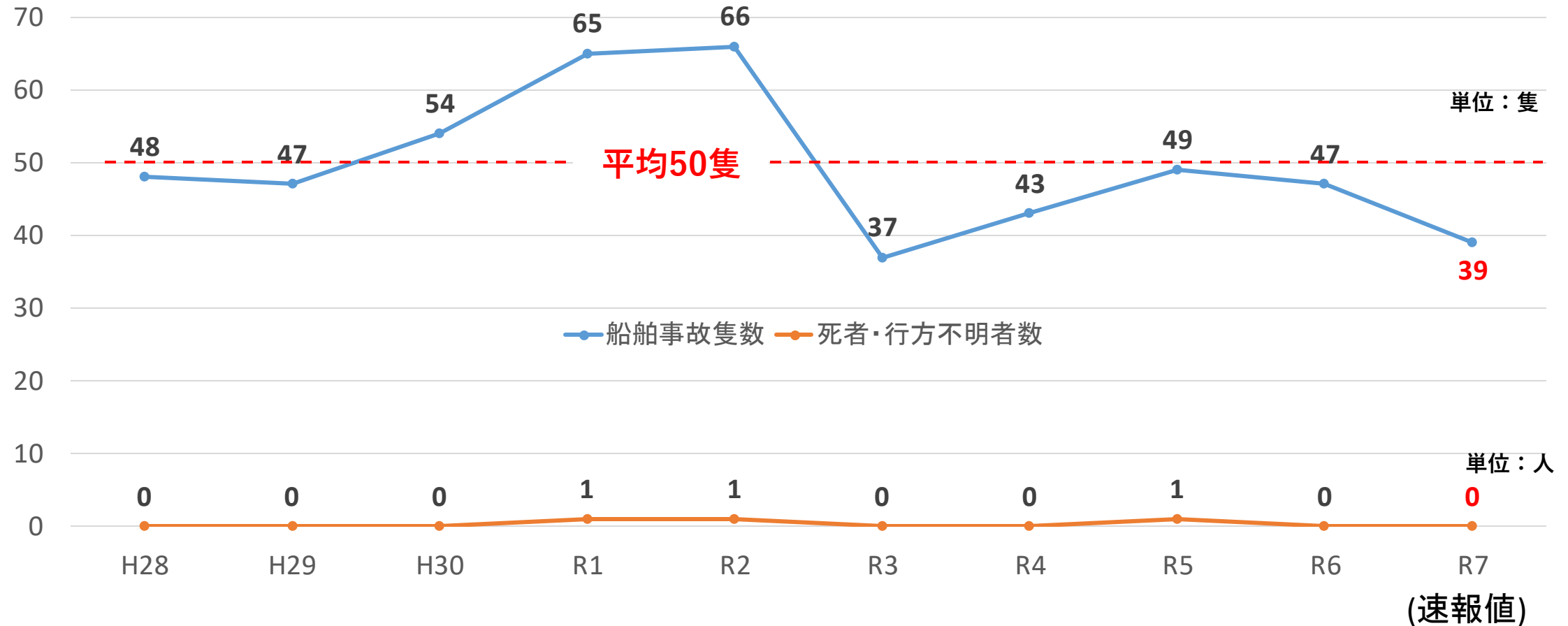
令和7年 熊本海上保安部管内※ 船舶事故発生状況 （速報値）

※八代海上保安署、天草海上保安署管内も含む

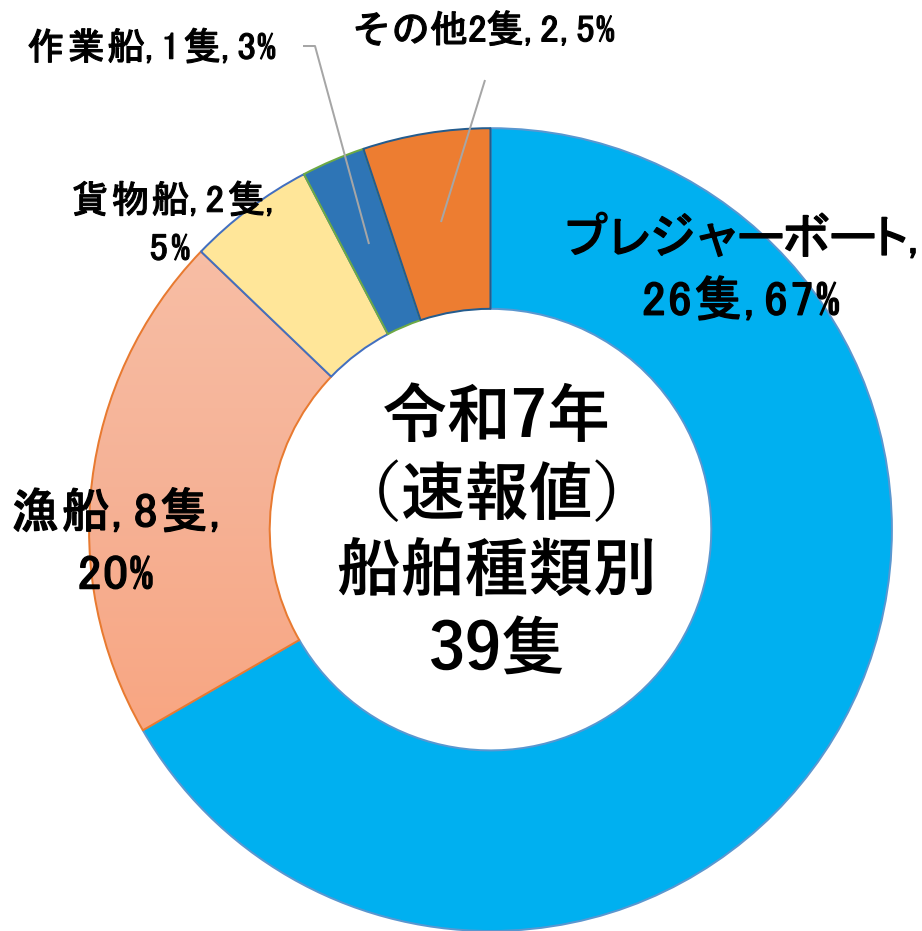
令和8年1月28日 熊本海上保安部交通課



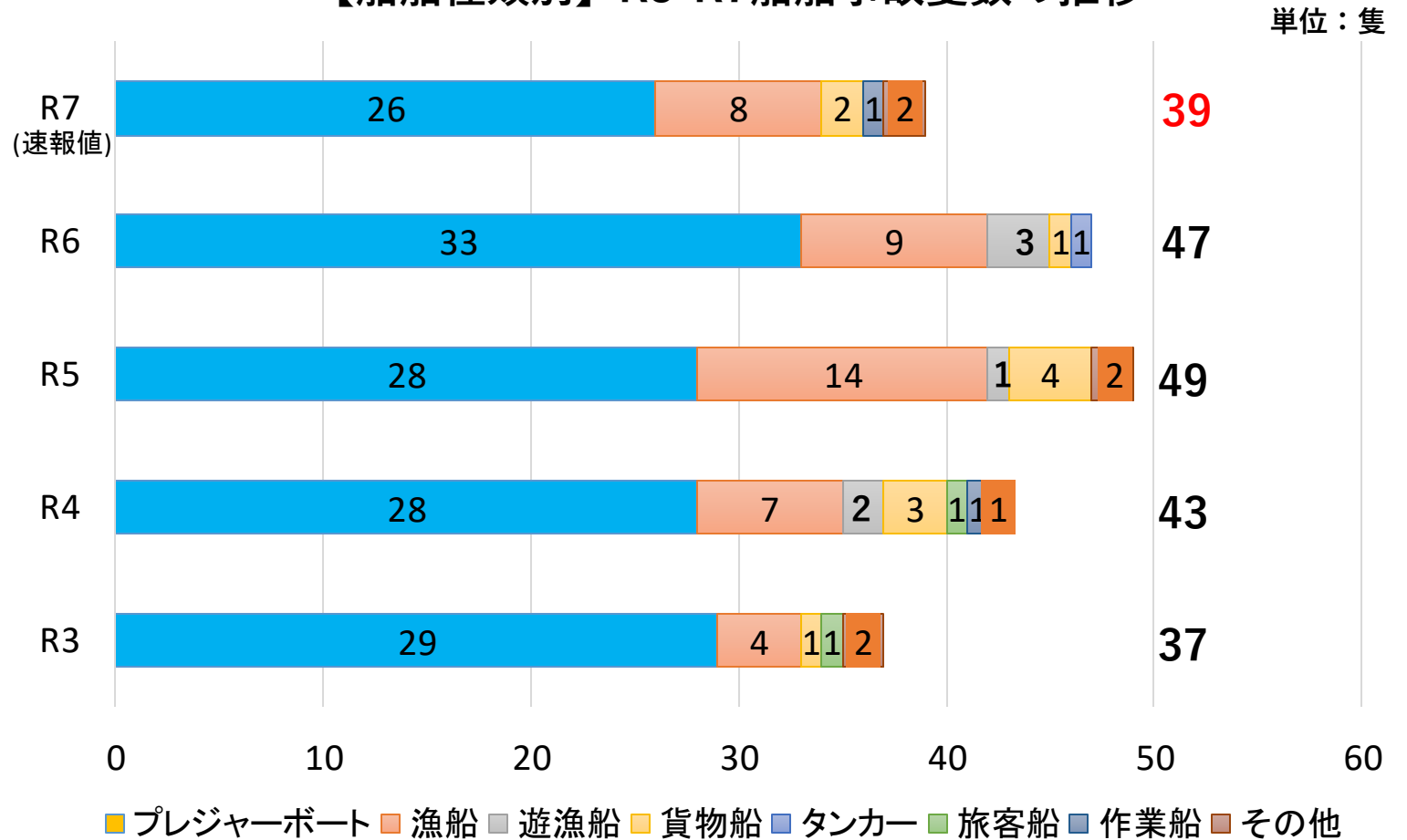
H28-R7船舶事故隻数と死者・行方不明者数の推移



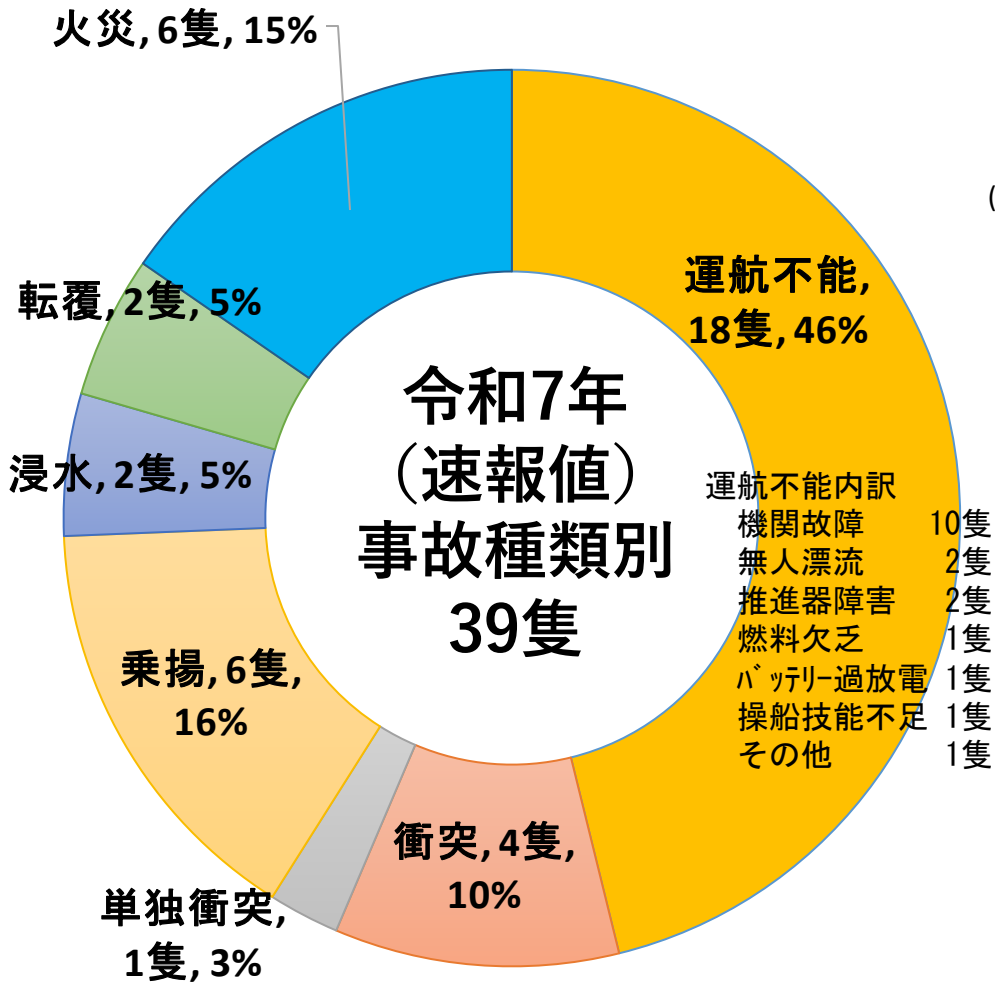
- 令和7年の船舶事故隻数は**39隻**。過去10年の平均隻数50隻を下回った。
- 船舶事故による死者・行方不明者は**0名**。



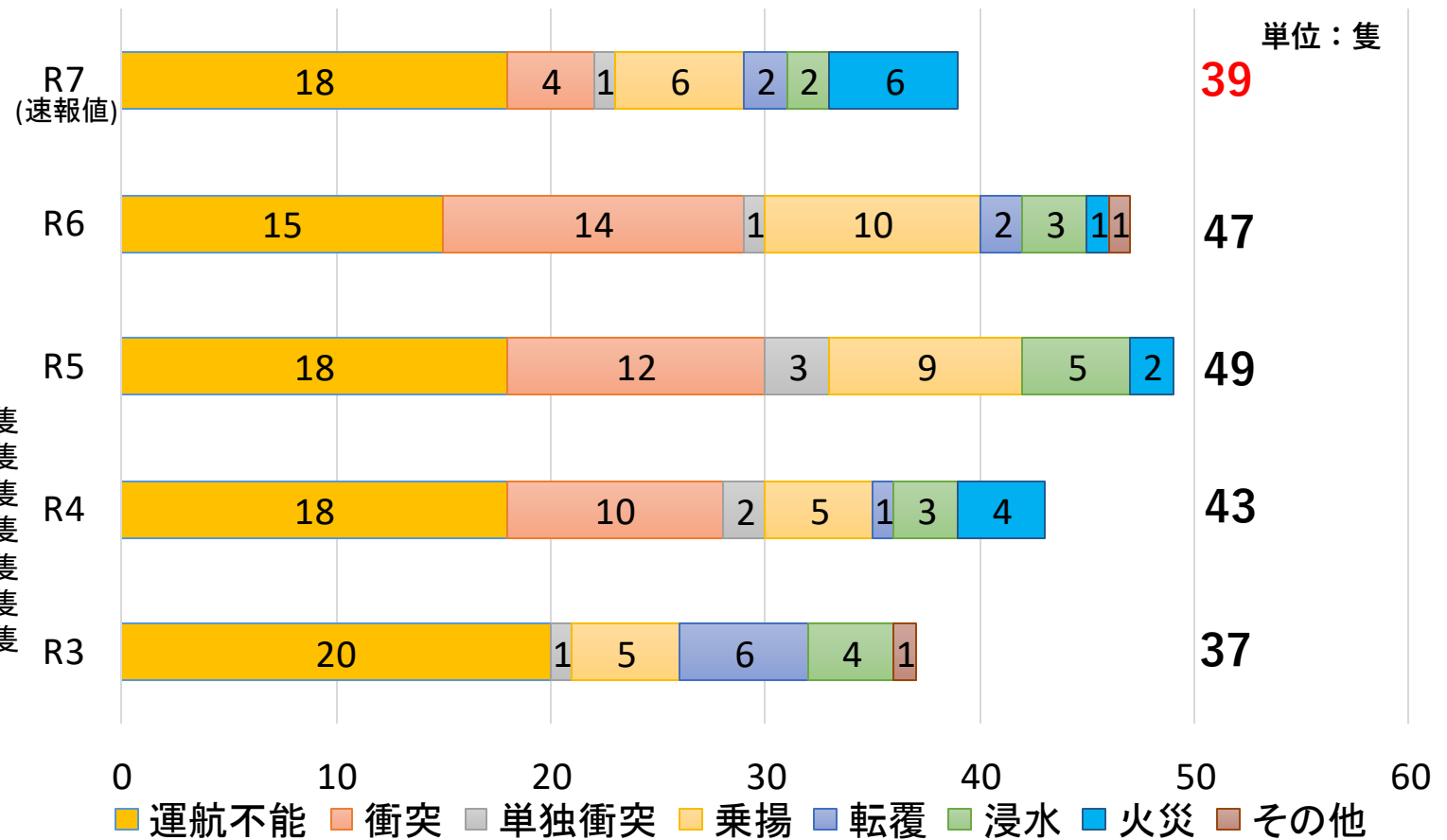
【船舶種類別】R3-R7船舶事故隻数の推移



- プレジャーボート事故が全体の7割（26隻）を占め、次いで漁船が約2割（8隻）を占める。
- 令和5年から船舶事故隻数は減少傾向に転じている。（前年比8隻減）



【船舶事故種類別】R3-R7船舶事故隻数の推移



- 運航不能が全体の**4割（18隻）**を占め、次いで衝突、乗揚げが**3割（11隻）**を占める。
- **衝突及び乗揚げ**が令和4年以降、**増加傾向**となっていたが、**令和7年は減少した**。

令和7年 熊本海上保安部管内※ 人身事故発生状況 （速報値）

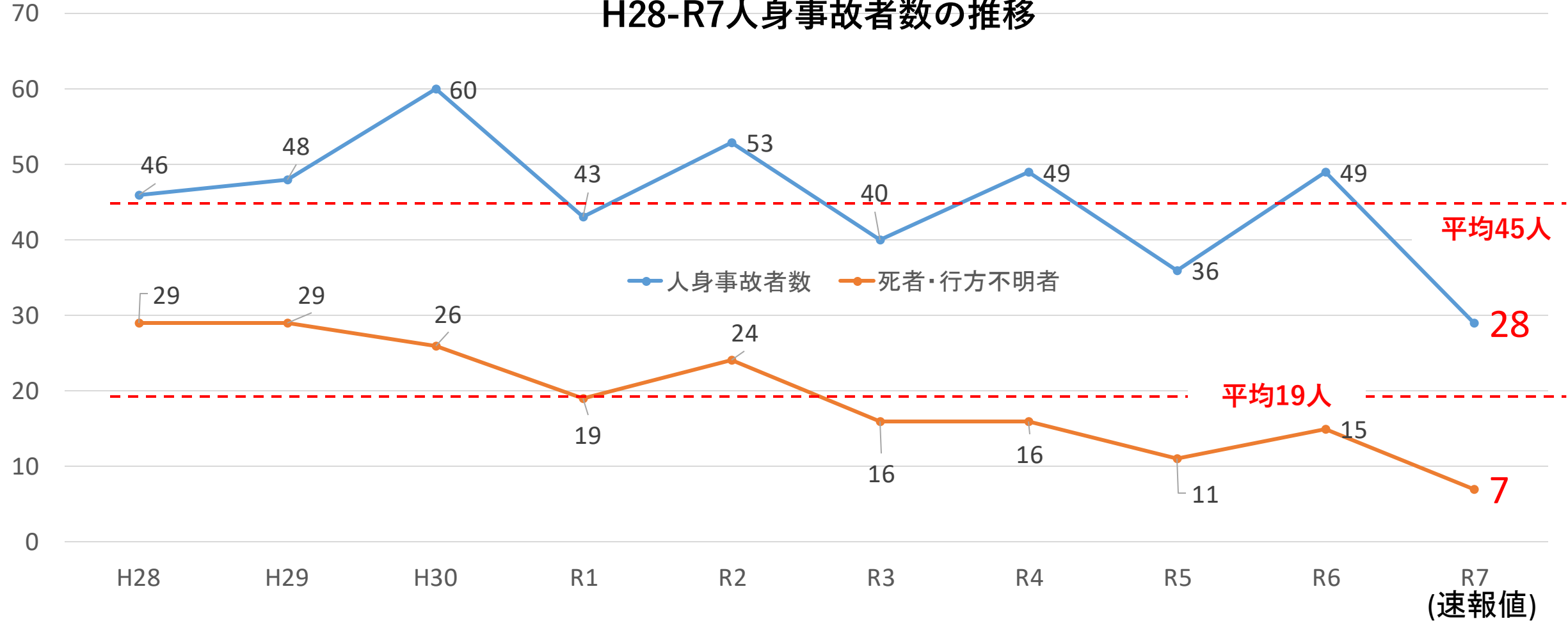
※八代海上保安署、天草海上保安署管内も含む

令和8年1月28日 熊本海上保安部交通課

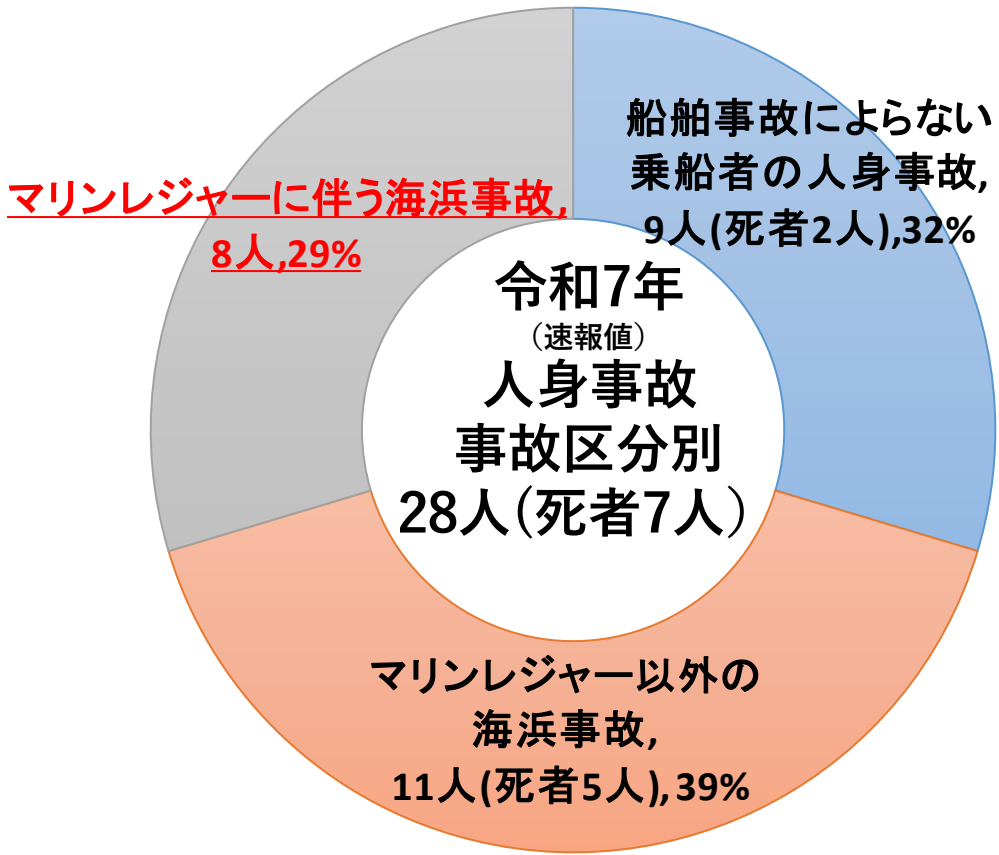


単位：人

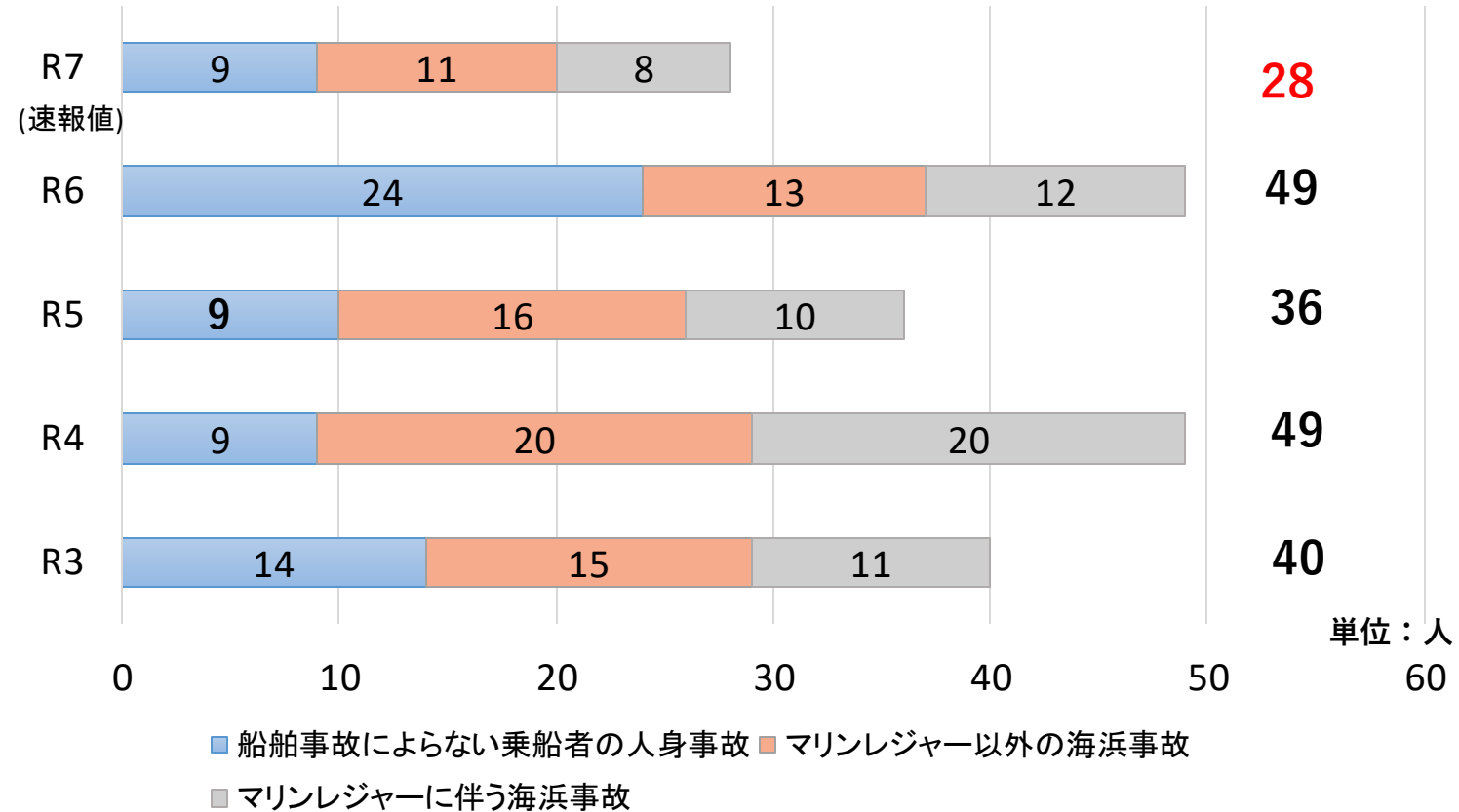
H28-R7人身事故者数の推移



- 令和7年の人身事故者数は28人（前年比21人減）と大幅に減少。
- 人身事故による死者・行方不明者数は7人（前年比8人減）と過去10年で最小となった。



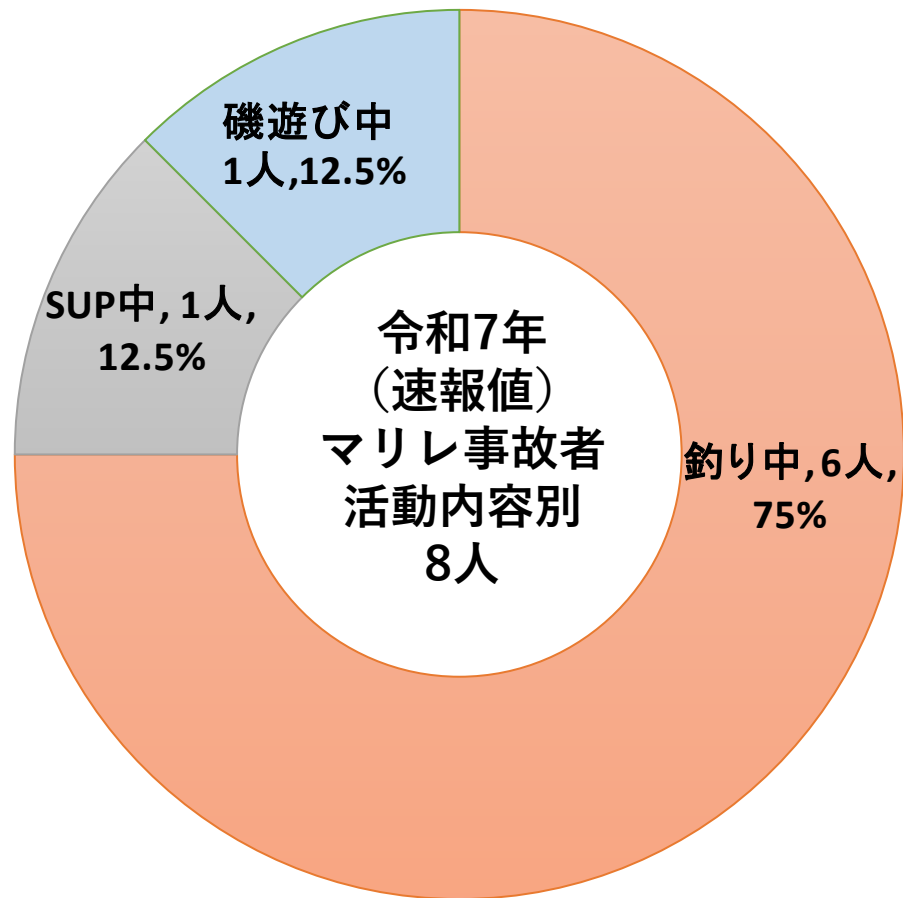
【事故区分】 R3-R7人身事故者数



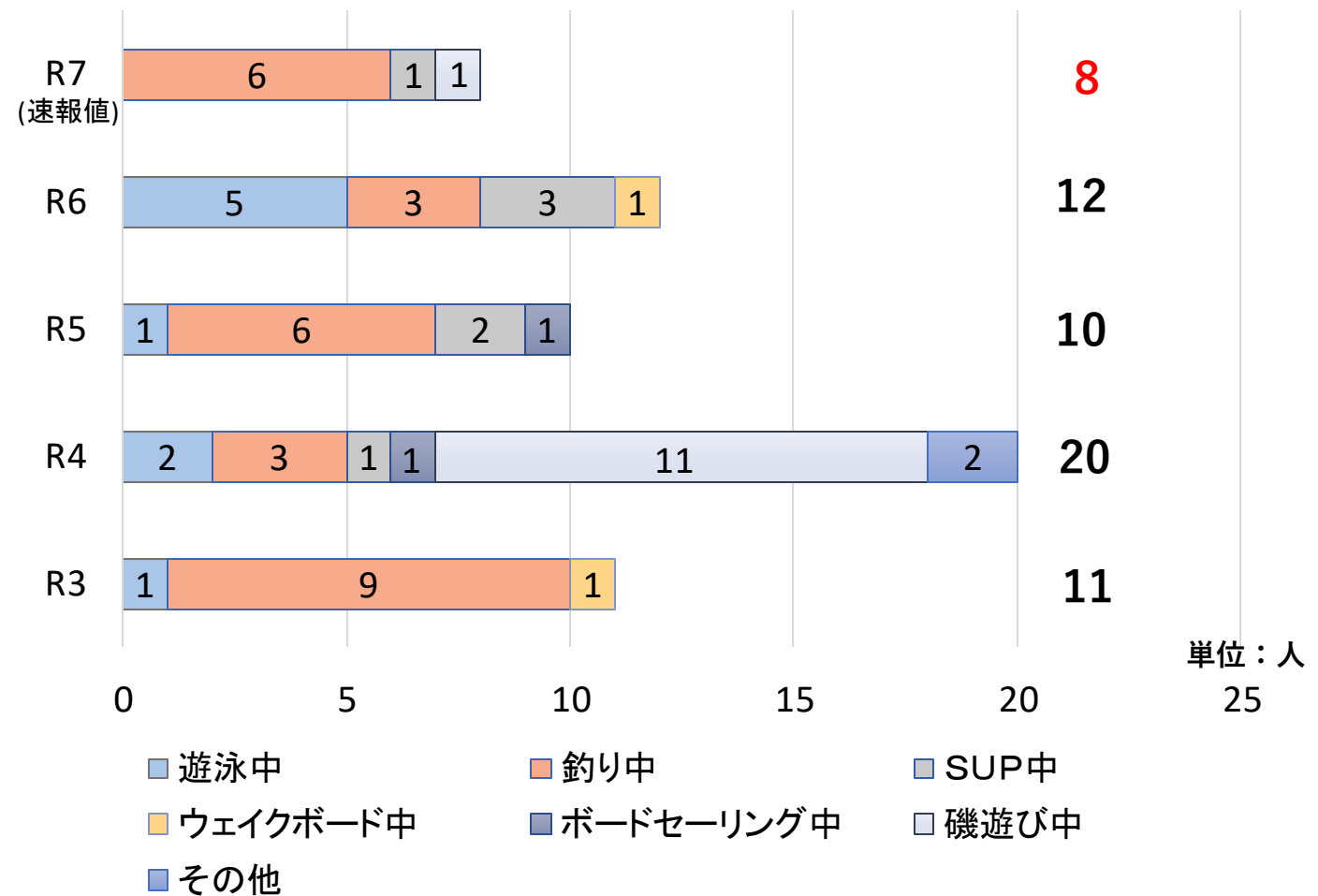
➤ 「船舶事故によらない乗船者の人身事故」が3割(9人)を占め、「マリンレジャー以外の海浜事故」が約4割(11人)、「マリンレジャーに伴う海浜事故」が3割(8人)を占める。

※船舶事故によらない乗船者の人身事故・・・船舶事故以外の事由により発生した乗船者の人身事故（例）乗船者の体調不良 など

※マリンレジャー以外の海浜事故・・・余暇活動以外の事由（自殺を含む）により発生した人身事故（例）車両の海中転落 など



【活動内容別】R3-R7マリレジャー中の事故発生状況



- 令和7年は、**約8割（6人）**、が釣り中の事故であったが、マリレジャー中の**死者行方不明者0人**であった。
- マリレジャー中の人身事故は、**過去5年で最小**で、遊泳中の事故は発生しなかったが、**釣り中の事故が6人と去年から倍増**した。